

中国語の条件疑問文における問題払拭効果について

伊藤さとみ（お茶の水女子大学）、王芸嬭（お茶の水女子大学）

要旨：本発表では、中国語の条件疑問文が反語に使われる仕組みを、Isaacs and Rawlins (2008)が条件疑問文に対して提案した意味論を用いて説明するとともに、条件節を導く二種類の接続詞の違いを明らかにする。条件疑問文が反語に使われるのは、この疑問文に対して、通常の疑問文への答え（肯定、否定、疑問の焦点への回答）以外に、条件節を否定する答え方があるためである。この後者の答え方は、Isaacs and Rawlins (2008)で問題払拭効果（Issue-dispelling effects）と呼ばれ、stack-based model と Hamblin-type semantics を組み合わせた説明が提案されている。本発表では、同じ仕組みが条件疑問文の反語用法に応用できることを示す。また、中国語の条件節を導く二つの接続詞“如果（もし～）”と“既然（～であるからには）”を取り上げ、その導く節の叙実性においてそれぞれ異なるにも関わらず、反語を表す条件疑問文においてはしばしば交替する現象に対して、両者の区別が、英語における仮定法と直接法に緩く対応していることを示す。

1. 中国語における条件疑問文を使った反語文

反語文は、その命題の真理値について、その反対を断言する、あるいは、聞き手に反対の命題を受け入れるよう迫るものである。そして、反語文であるとの判断には、文脈の精査が欠かせない。文脈から得られる情報により、当該文が反語文であると判断されるからである。中国語には、“哪儿（どこ）”などの疑問詞を使った反語文、“能不（できる-否定）”や“不就（否定-ならば）”、“不是吗（～ではないか）”など否定詞を使った反語文、“难道……吗（まさか～か）”など、反語を表す表現が多いこともあり、反語の研究は語彙や特定の構文を中心にした単文の研究が中心だった（刘娅琼 2014:9-10）。だが、単文では、反語を可能にする当該文脈との関係は個別の例の記述にとどまり、さらに抽象化した議論を進めることが難しかった。そこで、本節では、条件節を直近の文脈として持つ条件疑問文による反語の例を考察し、条件疑問文が反語に使われる仕組みと、使われる接続詞の種類について説明する。

1.1 対象とする接続詞の種類

本発表で取り上げる構文は、“如果（RUGUO, もし～）”と“既然（JIRAN, ～であるからには）”という接続詞の形成する条件疑問文である。この節では、この二つの接続詞の違いを述べる。“如果”も“既然”も、先行節命題の内容に基づいて、後行節命題を推論する複文であるが、“如果”は条件を導く接続詞であり、“既然”は原因を導く接続詞であると区別されてきた。その違いは、両接続詞の導く節の叙実性であり、文脈における新/既知の違いであるとも言える。例えば、(1)と(2)の対比に見られるように、“如果”は命題を新たに文脈に導入し、“既然”は既出の命題を導く。（以下、関係の箇所のみグロスをつける。）

- (1) 陈文娈望了他一眼，觉着她面前坐着的这个男人，她简直一点也不能了解，就说：“这个社会自然还不是理想的天堂，也没听说就能坏到那步田地。你叫学校撵出来了，难道不是你自己的责任，而是社会的责任么？听你刚才说的话，好像你自己一点也不感到耻辱似的，这就奇怪了。社会是什么？社会就是亲戚，朋友，上司，下属，难道你能够那样蔑视他们么？如果是这样，那只有两条路：一条路是你把这个社会毁灭了，按照你的意思重新建立一个社会；一条路是社会依然是这个社会，你自己毁灭了你自己！”周榕笑嘻嘻地说：

“如果 你 赞成 的话，我 愿意 跟 你 一道 走 第一 条 路，可 千万 别 走 第二 条 路。”

RUGUO 君 賛成 ならば 私 ~たい と 君 一緒 歩く 第一 的道 強調 絶対 に 禁止 歩く 第二 的道

訳：陳文娣は、目の前に座っている男を全く理解できないと感じながら、彼をちらりと見て、こう言った。

「この社会はもちろんまだ理想的な楽園ではないが、そこまで悪いとも聞いていない。学校から追い出されたのは、自分の責任ではなく、社会の責任なのですか？ あなたの話を聞くと、ちっとも恥ずかしいと思っていないのが不思議です。社会とは何ですか？ 社会は親戚、友人、上司、部下なのに、そんな風に彼らを蔑んでいいのですか？ もしそうなら、方法は2つしかありません。1つはあなたが社会を破壊して自分の好きなように新しい社会を作ること、もう1つは社会はこのままであなたが自滅することです！」。周榕は微笑んで言った。「もしあなたが同意してくれるなら、私はあなたと一緒に第一の道を進みたいですが、第二の道は絶対に進まないでください。」 CCL 《当代文学大陆作家欧阳山 三家巷》

- (2) 龙云笑笑说：“汪先生何出此言？汪先生的努力真能达救国之目的，我必赞同。不过有一点，希望汪先生与日方交涉，日军在一年内撤退。” “我必向日方力争实现之。” 汪精卫心定了，

“既然 你 赞同 我的意见，就 请 给 我 定 一架 飞机，明天 飞 河内。”

JIRAN 君 賛成する 私の意見 即ち どうか BEN 私 予約する 一機 飛行機 明日 飛ぶ ハノイ

訳：龍雲は微笑んで言った。「汪さん、どうしてそんなことを言うのですか？ 汪さんの努力が本当に国を救うという目的を達成できるのであれば、私はきっとそれに賛成します。ただし、一つだけお願いがあります。汪さんは1年以内に日本軍が撤退するよう日本側と交渉してください。」 「日本側に対して（撤退を）実現できるよう頑張ります。」汪精衛の心は決まった。「あなたが賛成してくれた以上、私に明日のハノイ行きの飛行機を予約してください。」 CCL 《当代史传蒋氏家族全传》

- (1)は“如果”を使い、(2)は“既然”を使っているが、“如果”と“既然”を交換することはできない。(1)も(2)も、接続詞の導く命題内容は「あなたが賛成する」であるが、(1)では、対話の相手（陳文娣）の発話にこの命題はなく、話し手（周榕）が初めて提起した条件であるのに対し、(2)では、対話の相手（龍雲）の発話の二重下線部にこの命題は表れており、話し手（汪精衛）はこの命題を共有された情報とした上で発言している。

この二つの接続詞の導く命題の違いについては、これまでも指摘があり、邢福义(2001:第5章)、钟小勇・张霖(2013)は、“既然”の導く命題は文脈に既出の情報であると指摘している。一方、“如果”については、文脈に新出の命題が許されるだけでなく、既出であっても許されるようである。张斌等(2001)、王麦巧(2008)には、“表示假设条件（仮定条件を表す）”と並んで、(3)のような“表示用一种事实来衬托另一种事实（事实を以て別の事実を引き立たせる）”という用法が“如果”にあると述べられている。

- (3) 如果 一部分的 商人、地主 和 官僚 是 中国资产阶级的 前身，

RUGUO 一部の 商人 地主 と 官僚 COP 中国資産階級の前身

那么 一部分的 农民 和 手工业工人 就是 中国工业无产阶级的 前身 了。

ならば 一部の 農民 と 手工業労働者 即ち COP 中国工業無産階級の前身 SFP

（もし一部の商人、地主、官僚が中国資産階級の前身であるならば、一部の農民と手工業労働者は中国工業無産階級の前身であるだろう。）

そこで、“如果”と“既然”の導く条件節の違いを、次のようにまとめることができる。

- (4) a. “如果 p, q”において、p を“如果”の導く先行節、q を主節とするならば、p はその文脈で新出であるか、既出であるかを問わない。
b. “既然 p, q”において、p を“既然”の導く先行節、q を主節とするならば、p はその文脈に既出の命題とみなされる。

以下、1.2 節で平叙文、1.3 節で疑問文におけるこの二つの接続詞の対立と交替現象について述べる。

1.2 平叙文における二つの接続詞の交替

“如果”と“既然”は、それぞれ導く節の性質が異なるため、その交替は意味の変化を引き起こす。王麦巧(2008)は、“如果”の導く命題が仮定であるとき、(5)のように、“既然”で置き換えた時点で、当該命題は仮定から事実へと解釈が変化すると指摘している。

(5) 他 如果/既然 爱好 音乐, 那么就 从 音乐方面 去 打动 他的心。

彼 RUGUO/JIRAN 愛好する 音楽 では 即ち から 音楽の方面 行く 動かす 彼の心

(彼が音楽を好きならば/であるからには、音楽の方面から彼の心を動かそう。)

だが、“如果”と“既然”の交替が、あまり意味に影響を与えない場合もある。黄文龙(1998:89)は、“既然”の導く節の命題が、反事実を表し、かつ、主節が常識に反する事柄を述べているとき、意味に変化なく“如果”と“既然”の交替が許されると述べている。以下、(6)は普通の反事実条件文だが、(7)は主節が常識に反する事柄を述べる反事実条件文であり、(7)の方が“既然”の容認度が高い。

(6) 如果/*既然 当时 马谡 听从 王平的劝告, 街亭之战 恐怕 将是 另外 一番 结局 了。

RUGUO/JIRAN 当時 馬謖 聞き従う 王平の忠告 街亭の戦い 恐らく だろう COP 別の 一個 結末 SFP

(馬謖が王平の忠告を聞いていれば/いたからには、街亭の戦いは恐らく別の結末があっただろう。)

(7) 如果/?既然 他 能 当 班长, 母猪 也能 上 树!

RUGUO/JIRAN 彼 できる 務める 班長 雌豚 も できる 登る 木

(彼が班長を務められるなら/からには、雌豚だって木に登れるだろう。)

王芸嬾(2021)では、(6)と(7)の違いは、聞き手が反論できる部分の違いであると述べた。(6)では、以下の(6')に示すように、先行節命題に対して異議を唱えることはできないが、(7)では、(7')に示したように、先行節命題に対して異議を唱えることができる。

(6')A: 如果当时马谡听从王平的劝告, 街亭之战恐怕将是另外一番结局了。

B: #不是这样的, 当时马谡听从了王平的劝告。

(#違う、あの時、馬謖は王平の忠告を聞いた。)

(7')A: 如果他他能当班长, 母猪也能上树!

B: 不是这样的, 他能当班长。

(違う、彼は班長を務められる。)

このように、同じように反事実を表す節であっても、その命題を反事実として聞き手が受け入れているかどうかの違いがある。(6')においては、先行節は歴史的な事実を反することを述べており、この命題が真であると真面目に反論することは起こりにくい。一方、(7')は“他(彼)”の能力についての判断であり、異なる考えがあり得る。従って、“如果”と“既然”の交替に関する制限は、以下のようにまとめられる。

(8) 反事実を表す“如果 p”において、聞き手が p を真であるとみなす可能性があるとき、“如果”を“既然”に置き換えることができる。

「聞き手が p を真であるとみなす可能性」は、話し手と聞き手を含む会話の参加者が p を共有された情報とみなすか、すくなくとも現時点の知識状態に矛盾しないことを表している。従って、反事実命題を導くときにも、“如果”と“既然”が本来備えていた(4)の違いは残っている。ただし、容認度の判断には、先行節と後行節の含意関係が、どれだけ論理的に受け入れられるかにも影響される。例えば、以下の例では、(7)よりも“如果”と“既然”の交替の容認度が上がる。

(9) 如果/既然 爸爸 是 “坏蛋”，那么，世界上 就 没有 好人 了。

RUGUO/JIRAN 父 COP 「悪者」 では 世界中 即ち NEG いる よい人 SFP

(父が悪者だというならば／からには、この世にはよい人はいない。)

(7)と(9)の容認度の違いは、この構文を反語として使う目的からみて、説得力のある含意関係であれば容認度が上がり、そうでなければ下がるためにもたらされるようである。この点において、“如果”と“既然”の交替に関しては、いくつかの要素が関係しているのも事実である。

1.3 疑問文における二つの接続詞の交替

前節では、平叙文での“如果”と“既然”の交替を見たが、この節では、疑問文における現象を紹介する。邢福义(2001:506)は、“质疑性推断(疑念を表す推論)”を表す“既然”を用いた条件疑問文を、“如果”を用いた条件疑問文と比較し、先行節命題の位置づけに違いがあると指摘した。(10)の例で言うと、「父が悪者である」ことは、“如果”では仮定として、“既然”ではそれが事実として挙げられている。

(10) 如果/既然 爸爸 是 “坏蛋”，那么，什么样的人 才 是 好人 呢？

RUGUO/JIRAN 父 COP 「悪者」 では どんな人 やつと COP よい人 SFP

(父が悪者だというならば／からには、どんな人が好人なのか。)

だが、反語文としては、この二つの文は同じことを断言している。即ち、話し手は、「父は悪者ではない」ということを、聞き手に伝えようとしている。以下、条件疑問文(11)と(12)は黄文龙(1998)と邢福义(2001)からの例だが、(11)は「それはデートだった」、(12)は「あなたは貧しくない」ということ、つまり、条件節命題の反対のことを断言している。

(11) 如果/既然 不 是 幽会，为什么 会有 那样的 举动，你 给 我 解释 清楚！

RUGUO/JIRAN NEG COP デート なぜ 可能 ある あんな 行動 君 BEN 私 説明する はっきり

(デートでなかったならば／からには、なぜあんな行動をしたのか。はっきり説明しなさい！)

(12) 如果/既然 那么 穷，为什么 却 天天 有 肉 吃？

RUGUO/JIRAN そんなに 貧しい なぜ けれども 毎日 ある 肉 食べる

(そんなに貧しいというのであれば／というからには、なぜ毎日食べる肉があるのか。)

このように、主節が疑問文である場合、“如果”でも“既然”でも反語として成立しやすい。本発表では、このような条件疑問文の反語用法について、Isaacs and Rawlins (2008)に基づいてそのメカニズムを説明し、(8)に挙げた“如果”と“既然”の交替にかかる制限を説明する。

2. Isaacs and Rawlins (2008)の枠組み

条件疑問文の答え方に、通常の肯定と否定の他に、条件節を否定する方法があることは知られている。次の会話例の答えのうち、①は肯定、②は否定、③は条件節の否定である。

(13) A: *If Alfonso comes to the party, will Joanna leave?*

B: ① *Yes, she will.* / ② *No, she won't.* / ③ *Alfonso isn't coming to the party.*

Isaacs and Rawlins (2008:274)は、③のような答え方を指して、“issue-dispelling effects (問題払拭効果)”と呼んだ。この効果は、先行節の命題を否定することで、問い(issue)が前提としている命題を否定し、問いそのものをなかったことにしてしまうのである。Isaacs and Rawlins (2008)は、この効果は、条件節の更新した文脈の上に問いが作られているため、条件節ごと取り去る操作が可能であるから得られることを示した。具体的には、Kaufmann(2000)の stack-based model に Hamblin(1972)の疑問文の意味論を組み合わせている。

Stack-based model は、Heim(1983)の file change semantics の枠組みを改良したもので、命題の解釈は一つの文脈ではなく、複数の文脈において行われる。この複数の文脈はマクロ文脈 (macro-contexts) と呼ばれ、次のように定義される。以下、Definitions(14)~(21)は、Isaacs and Rawlins(2008:291-4)からの引用である。

(14) Definition: macro-contexts

- a. $\langle \rangle$ is a macro-context.
- b. If c is a (Stalnakerian) context and s is a macro-context, then $\langle c, s \rangle$ is a macro-context.
- c. Nothing else is a macro-context.
- d. If s is macro-context, then s_n is the n th context (counting from 0 at the top) and $|s|$ is its size (excluding its final empty element).

この定義によると、マクロ文脈とは、文脈 (= 会話の参与者に共有される知識と矛盾しない可能世界の集合) とマクロ文脈からなる順序対である。入れ子になっていることから分かるように、マクロ文脈はそれまでの文脈のスタックとなっている。なお、マクロ文脈には最上層から順に s_0, s_1, \dots, s_n と番号を振っておく。マクロ文脈への文脈の追加と削除は、それぞれ以下の演算子を使って行われる。

(15) Definition: push operator

For any macro-context s and context c : $\text{push}(s, c) =_{\text{def}} \langle c, s \rangle$

(16) Definition: pop operator

For any macro-context $\langle c, s \rangle$: $\text{pop}(\langle c, s \rangle) =_{\text{def}} \langle c, s \rangle$ if $s' = \langle \rangle$, s' otherwise

Push operator はマクロ文脈の最上層に新しい文脈 c を追加し、pop operator はマクロ文脈の最上層から文脈 c を削除する。ただし、もし文脈 c がマクロ文脈の中の最下層であれば、そのまま残す。

次に命題のマクロ文脈における真理値について述べる。単一の文脈においては、ある命題が支持されるとは、その文脈に含まれるすべての可能世界がその命題と矛盾しないということであった。一方、マクロ文脈においてある命題が支持されるとは、会話の参与者が現在の文脈において、その命題が新しい文脈において支持されると知ることである。従って、古い文脈に含まれていない可能世界を含まず、かつ、新しい文脈に二つとも含まれることもない可能世界の順序対の集合として定義される。

(17) Definition of \vdash

For any contexts c and c' , and c'' :

$$\vdash(c, c'; c'') =_{\text{def}} \{ \langle w_1, w_2 \rangle \in c \mid \neg \exists w \in W, \text{ s.t. } \langle w_1, w \rangle \in c' \text{ or } \langle w, w_2 \rangle \in c' \text{ or } \langle w_1, w_2 \rangle \in c'' \}$$

平叙文は、マクロ文脈に平叙文を支持する文脈を追加する (“ \oplus ” で表す) ことで、(18)のようにマクロ文脈を更新 (update) する。一方、疑問文が発話されると、マクロ文脈の更新は、(19)のように、最上層文脈の分割 (“ \odot ” で表す) として行われる。これは、Hamblin(1972)の疑問文の意味論に則り、疑問文は、それに対する可能な答えを表す命題を支持する可能世界の集合として表されるからである。

(18) Assertive update on macro-contexts

For any macro-context s and clause ϕ :

$$s + [\text{Assert } \phi] =_{\text{def}} s' \text{ where } |s'| = |s| = n \text{ and } s'_i = \vdash(s_i, s_0, s_0 \oplus \phi) \text{ for all } i, 0 \leq i < n$$

(19) Inquisitive update on macro-contexts

For any macro-context s and clause ϕ :

$$s + [\text{Question } \phi] =_{\text{def}} s' \text{ where } |s'| = |s| = n \text{ and } s'_i = \vdash(s_i, s_0, s_0 \odot \phi) \text{ for all } i, 0 \leq i < n$$

以上の枠組みを踏まえ、条件節の解釈は、先行節から後行節へと順にマクロ文脈に追加されるという規則 (20)、先行節が追加される時には、先行節命題を支持する文脈がマクロ文脈に追加されるのだが、その際

に、それまでのマクロ文脈との交わりが空にならないという制限がつく(21)。

(20) MCCP of an indicative conditional:

For any macro-context s , 'if'-clause $[if \phi]$, and clause $\phi : s + [if \phi, \phi] =_{def} s + if \phi + \phi$

(21) MCCP of an 'if'-clause

For any macro-context s and 'if'-clause $[if \phi] : s + if \phi =_{def} push(s, s_0 \oplus \phi)$

Admittance conditions: 'If ϕ ' is admissible in a macro-context s iff $s_0 \oplus \phi \neq \emptyset$

そこで、(13)の条件疑問文の問題払拭効果は、(22)に示したような三つの段階を経て得られる。i) 先行節は、マクロ文脈に一時的文脈を作る。ii) 後行節はその一時的文脈を分割する。iii) 一時的文脈を削除する。

(13) *If Alfonso comes to the party, will Joanna leave?*

(22) i) $push(s, s_0 \oplus \text{"Alfonso comes"}) = \langle s_0 \oplus \text{"Alfonso comes"}, s \rangle$

ii) $\langle s_0 \oplus \text{"Alfonso comes"}, s \rangle + \text{"Will Joanna come"} = \langle s_0 \oplus \text{"Alfonso comes"} \circ \text{"Will Joanna come"}, s \rangle$

iii) $pop(\langle s_0 \oplus \text{"Alfonso comes"} \circ \text{"Will Joanna come"}, s \rangle) = s$

この操作は、後行節が疑問形式であるため、新たな文脈を作らず、先行節命題を支持する文脈をまとめて削除できることによる。次の節では、以上の分析を中国語の条件文に適用して、反語文の成立についてみる。

3. 中国語への応用

Isaacs and Rawlins (2008)の条件疑問文の意味論を応用すると、(12)の例は(23)の段階を経て解釈される。

(12) 如果/既然 那么 穷, 为什么 却 天天 有 肉 吃?

RUGUO/JIRAN そんなに 貧しい なぜ けれども 毎日 ある 肉 食べる

(そんなに貧しいというのであれば/というからには、なぜ毎日食べる肉があるのか。)

(23) i) $push(s, s_0 \oplus \text{"You are poor"}) = \langle s_0 \oplus \text{"You are poor"}, s \rangle$

ii) $\langle s_0 \oplus \text{"You are poor"}, s \rangle + \text{"why do you eat meat"} = \langle s_0 \oplus \text{"You are poor"} \circ \text{"why do you eat meat"}, s \rangle$

iii) $pop(\langle s_0 \oplus \text{"You are poor"} \circ \text{"why do you eat meat"}, s \rangle) = s$

(23)の各段階を解説すると、以下のようなになる。i) 先行節により「あなたは貧しい」という命題を支持する文脈が作られ、push operator により、マクロ文脈の最上層に置かれる。ii) その最上層文脈を後行節命題が想定される可能な答えに従って分割する。具体的には、「毎日食べる肉がある理由を表す命題」ごとに分割される。iii) pop operator が i) で作られた文脈を除去する、または、聞き手に除去するよう迫る。

適用の際に問題となるのは、(21)に付帯する Admittance conditions である。中国語では、条件文に直接法と仮定法の区別はないため、その条件節命題が、当該文脈と矛盾しないかどうか、つまり、話者がその文脈において条件節命題が真かもしれないと考えているかどうかを、時制などを用いて示すことはない。ただし、1.1 節で述べたように、これに近い区別をする接続詞、「如果」と「既然」がある。どちらも先行節で条件を提示し、主節で条件からの推測を表すという点では共通しているが、1.1 節で述べたように、先行節命題の位置づけには(4)のような違いがある。

(4) a. “如果 p, q”において、p を“如果”の導く先行節、q を主節とするならば、p はその文脈で新出であるか、既出であるかを問わない。

b. “既然 p, q”において、p を“既然”の導く先行節、q を主節とするならば、p はその文脈に既出の命題とみなされる。

従って、“既然”を使った条件節の命題は、話し手と聞き手の共有基盤に既出であり、必ず Admittance conditions を満たすが、“如果”を使った条件節は、必ずしもそうとは限らない。そこで、Admittance

conditions の観点から見れば、Isaacs and Rawlins (2008)の分析対象である直接法条件節に対応するのは、“既然”を使った条件節であると考えられる。一方、“如果”を使った条件節は、1.2 節で観察した“如果”と“既然”の交替にかかる制約(8)の範囲で、反語に使うことができた。以下、(8)を再掲する。

(8) 反事実を表す“如果 p”において、p の反事実性が聞き手に受け入れられていないとき、“如果”を“既然”に置き換えることができる。

これは“如果”のカバーする範囲が広く、Admittance conditions を満たす命題も導くことができるからである。つまり、“既然”を使った条件疑問文は、その条件節の内容がそれまでの文脈と矛盾しないことが保証されているため、いつでも問題払拭効果を発動して反語文として使用することができるが、“如果”を使った条件疑問文は、“既然”を使った条件疑問文と同じ条件がたまたまそろったときにのみ、問題払拭効果を発動して反語文として使用することができる。

4. まとめ

以上、中国語の反語を表す条件疑問文は、Isaacs and Rawlins (2008)が直接法条件節を伴う疑問文に対して提案した問題払拭効果と同じ仕組みで反語を表すことを明らかにし、“如果”と“既然”という二つの接続詞がともに反語を表す条件疑問文に用いることができるにも関わらず、その交替が制限されるのは、“如果”のカバーする範囲が、“既然”よりも広いためであることを述べた。中国語は形態的時制の体系を持たないため、条件文においても、直接法と仮定法の違いはないと思われているが、接続詞を使い分けることにより、両者の区別を不完全ながら行っている。なお、Isaacs and Rawlins (2008)の問題払拭効果は、後行節の疑問文が、新しい文脈を作らないことから可能なものであり、後行節が平叙文ならば、後行節が新たな文脈を作るため、先行節を含めた二つの文脈を削除することは難しいと予想される。実際に平叙文の反語としての容認度は低いように思われるが、その検証は今後の課題としたい。

<Abbreviation> BEN : 受益者を導く前置詞 COP : コピュラ動詞 NEG : 否定詞 SFP : 文末助詞

<英語参考文献>

Hamblin, C. L. 1973 “Questions in Montague English”. *Foundations of Language* 10(1). 41-53.

Heim, I. 1983 “On the projection problem for presuppositions”. In Portner, P. and B. H. Partee (eds.) 2002 *Formal Semantics — the essential readings*. Oxford: Blackwell Publishers. 249-260.

Isaacs, J. and K. Rawlins 2008. “Conditional Questions”. *Journal of Semantics* 25: 269-319.

Kaufmann, S. 2000 “Dynamic Context Management”. In Faller et al. (eds.) *Formalizing the Dynamics of Information*. CSLI Publications, California. 171-188.

<中国語参考文献>

黄文龙 1998 <“既然 P, 就 Q”句质疑>《贵州师范大学学报(社会科学版)》总第 100 期, 87-91。

刘娅琼 2014 《现代汉语会话中的反问句研究》上海: 徐林出版社。

王麦巧 2008 <“既然 p, 那么 q”与“如果 p, 那么 q”(新)之比较>《语言应用研究》2008. 08, 59-61。

邢福义 2001 《汉语复句研究》北京: 商务印书馆。

钟小勇・张霖 2013 <“既然”句和“因为”句主观性差异探>《汉语学习》2013 年 8 月第 4 期, 35-40。

<日本語参考文献>

王芸嬛 2021 『中国語における因果関係を表す複文に関する研究』お茶の水女子大学: 博士論文。